

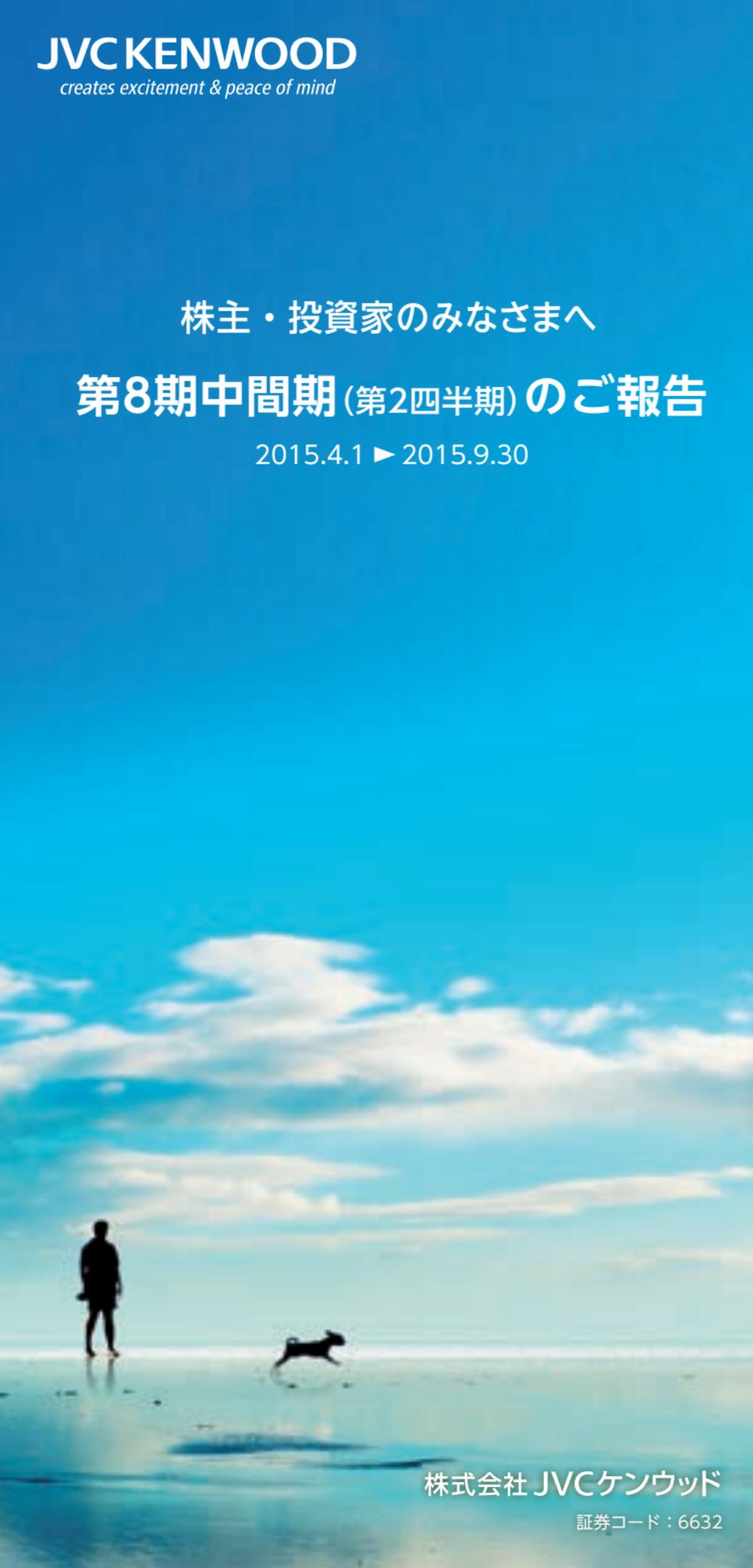
**JVCKENWOOD**

*creates excitement & peace of mind*

株主・投資家のみなさまへ

# 第8期中間期(第2四半期)のご報告

2015.4.1 ▶ 2015.9.30

A serene landscape photograph of a beach at sunset. The sky is a deep, vibrant blue with scattered white clouds. In the foreground, the wet sand reflects the sky. On the left, a person stands in silhouette, looking out towards the ocean. In the middle ground, a dog is captured in mid-stride, running across the wet sand towards the right. The overall mood is peaceful and evokes a sense of freedom and connection with nature.

株式会社 JVCケンウッド

証券コード：6632

## 株主・投資家のみなさまへ



代表取締役会長

河原 春郎

平素は格別のご高配を賜り改めて厚く御礼申し上げます。  
当社は、9月30日をもって第8期中間期(第2四半期累計期間)を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当累計期間における連結売上高は、1,393億84百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

平成27年4月1日付でASK Industries S.p.A.(以下「ASK」といいます。)を連結子会社化したことなどから、オートモーティブ分野は増収となりました。一方、当第2四半期連結会計期間に業務用無線事業が減収となったものの、米国無線子会社の業績に改善傾向が見られたことなどから、パブリックサービス分野は前年同期並みの実績となりました。また、平成27年4月28日付で株式会社イチクエンタテインメント(以下「イチク」といいます。)の全株式を譲渡した影響などから、メディアサービス分野は減収となりました。

当累計期間における連結営業利益は、前年同期比で約21億円減となる9億80百万円の損失となりました。

市販事業が海外販売減の影響を受けたことや、用品事業や純正事業で、計画を上回る新規受注獲得などにより期初計画外の先行開発費が増加したことなどから、オートモーティブ分野は減益となりました。また、業務用無線事業が減益となったことなどから、パブリックサービス分野は減益となりました。メディアサービス分野は、イチクの全株式を譲渡した影響などから減益となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間における連結営業利益は、オートモーティブ分野の市販事業において、国内販売が第1四半期連結会計期間同様好調に推移したこと、用品事業で新規顧客向けディーラーオプション商品の出荷を開始したこと、またパブリックサービス分野で米国無線子会社の業績に改善傾向が見られたことなどから、黒字を確保しました。

## 連結決算ハイライト

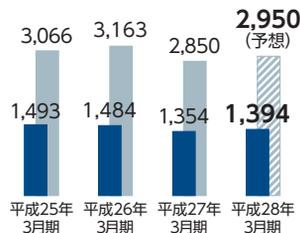
■第2四半期(累計) / ▨通期

### 売上高

**1,393億84百万円**

(前年同期比2.9%増)

(億円)

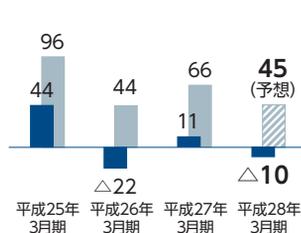


### 営業損益

**△9億80百万円**

(前年同期比約21億円減)

(億円)

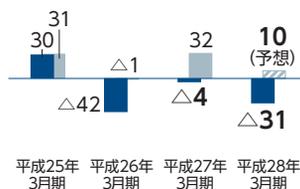


### 経常損益

**△30億93百万円**

(前年同期比約27億円減)

(億円)

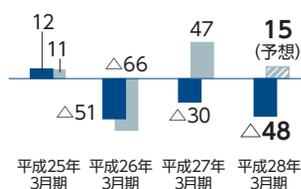


### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益

**△47億75百万円**

(前年同期比約17億円減)

(億円)



### 損益為替レート

		第1四半期	第2四半期
当期	米ドル	約121円	約122円
	ユーロ	約134円	約136円
前期(参考)	米ドル	約102円	約104円
	ユーロ	約140円	約138円

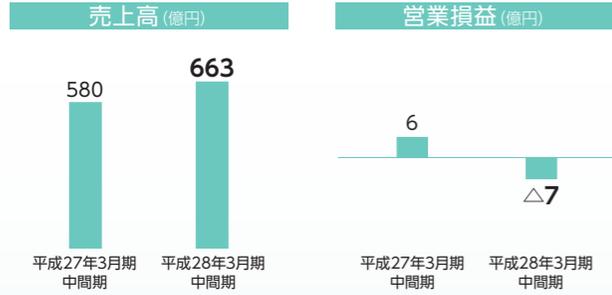
セグメント情報は中面をご覧ください

### 中間配当について

当社では、安定的に利益還元を行うことが経営上の最重要課題の一つと考え、収益力および財務状況を総合的に考慮して剰余金の配当およびその他処分などを決定することとしております。

第8期中間配当につきましては、経営資源を集中するため、取締役会で配当を見送ることを決議いたしました。

オートモーティブ分野



**売上高** 市販事業は国内販売が好調も、中近東・欧州の市況低迷の影響などから減収。用品事業は、新規顧客向けディーラーオプション商品の出荷開始などから増収。純正事業は、ASKの連結子会社化により増収。

**営業損益** 市販事業は国内増益も、中近東・欧州の減収影響から全体では減益。用品事業は新規受注獲得にともなう先行開発費増などから減益。純正事業は次世代事業・新規受注獲得にともなう開発費増などから減益。当第2四半期連結会計期間ではオートモーティブ分野全体で黒字を確保。

**市販事業**

- 海外市販向けAVナビゲーションシステム
- 海外市販向けディスプレイオーディオシステム
- 国内市販向けAVナビゲーションシステム「彩速ナビ」
- ドライブレコーダー
- 市販向けカーオーディオシステム
- 車載用カスタムフィット・スピーカー

**用品事業**

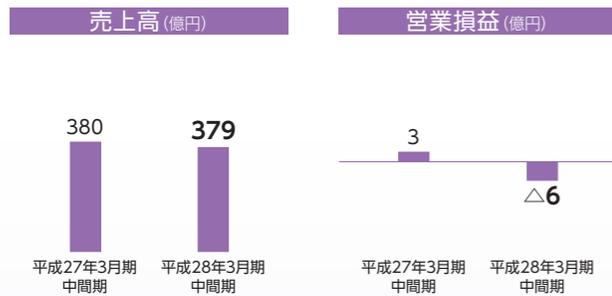
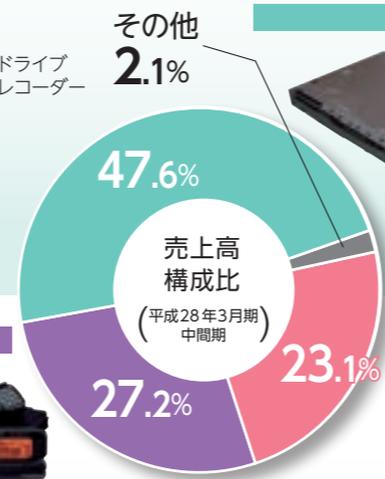
- ディーラーオプション向けメモリーナビゲーションシステム

**純正事業**

- 車載用CD/DVDメカニズム
- 純正装着スピーカー

**純正**

- ヘッドアップディスプレイ (HUD)
- 電子ミラー
- 電子メーター
- カーオプトロニクス製品 (イメージ)



**売上高** 無線システム事業は米国無線子会社の改善などから増収。業務用システム事業は海外商品ラインナップ絞り込みなどから減収。ヘルスケア事業は海外販売減により減収。

**営業損益** 無線システム事業は米国無線子会社含む再編・改革途上にあり減益。当第2四半期連結会計期間では増益。業務用システム事業は固定費削減などから損失が減少。ヘルスケア事業は減収により減益。

**セキュリティ事業**

- 業務用デジタル無線システム
- VoIPラジオディスパッチシステム
- アマチュア無線

**ヘルスケア事業**

- デジタルワイヤレスマイクシステム
- 特定小電力トランシーバー
- セキュリティビデオカメラ
- 非常業務放送装置
- 医用画像表示用ディスプレイ

**メディア事業**

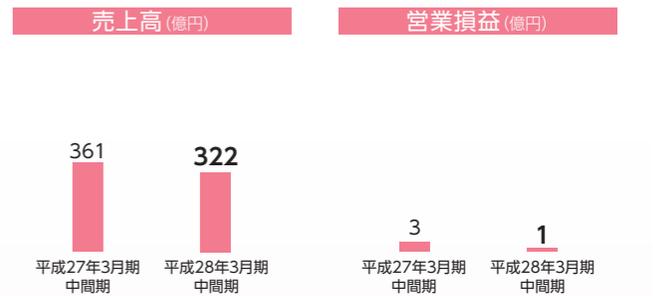
- スタジオカメラシステム
- 4Kメモリーカードカメラレコーダー
- 全天候型ハイビジョンメモリームービー

**エンターテインメント事業**

- サザンオールスターズ
- SMAP
- 家入レオ

**オーディオ事業**

- ステレオミニヘッドホン
- 業務用「D-ILA」8Kプロジェクター



**売上高** メディア事業はAVアクセサリが好調も、プロジェクター販売減少などから減収。エンターテインメント事業はテイチク全株式譲渡の影響から減収。

**営業損益** メディア事業はAVアクセサリが増益となり、プロカメラが商品構成改善により黒字転換したことなどから、損失が減少。エンターテインメント事業はテイチク全株式譲渡の影響から減益。

パブリックサービス分野

メディアサービス分野

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 当第2四半期連結会計期間(平成27年9月30日)

科目	金額(百万円)
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>149,480</b>
現金及び預金	44,975
受取手形及び売掛金	50,976
商品及び製品	27,394
仕掛品	4,946
原材料及び貯蔵品	10,123
繰延税金資産	4,029
その他	8,703
貸倒引当金	△ 1,669
<b>固定資産</b>	<b>122,060</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>55,800</b>
建物及び構築物(純額)	13,230
機械装置及び運搬具(純額)	7,540
工具、器具及び備品(純額)	5,491
土地	28,100
建設仮勘定	1,436
<b>無形固定資産</b>	<b>24,771</b>
のれん	8,685
ソフトウエア	10,744
その他	5,341
<b>投資その他の資産</b>	<b>41,488</b>
投資有価証券	5,435
退職給付に係る資産	29,844
その他	7,102
貸倒引当金	△ 894
<b>資産合計</b>	<b>271,541</b>

## 四半期連結損益計算書(要旨)

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

科目	金額(百万円)
売上高	139,384
売上原価	100,972
<b>売上総利益</b>	<b>38,411</b>
販売費及び一般管理費	39,391
<b>営業損失(△)</b>	<b>△ 980</b>
営業外収益	613
営業外費用	2,726
<b>経常損失(△)</b>	<b>△ 3,093</b>
特別利益	1,591
特別損失	1,413
<b>税金等調整前四半期純損失(△)</b>	<b>△ 2,915</b>
法人税、住民税及び事業税	1,534
法人税等調整額	35
<b>法人税等合計</b>	<b>1,569</b>
<b>四半期純損失(△)</b>	<b>△ 4,485</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	289
<b>親会社株主に帰属する四半期純損失(△)</b>	<b>△ 4,775</b>

科目	金額(百万円)
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>98,782</b>
支払手形及び買掛金	32,558
短期借入金	14,776
1年内返済予定の長期借入金	10,897
未払金	7,238
未払費用	18,955
未払法人税等	2,570
製品保証引当金	1,518
返品調整引当金	682
その他	9,586
<b>固定負債</b>	<b>103,839</b>
長期借入金	49,876
再評価に係る繰延税金負債	1,606
繰延税金負債	14,290
退職給付に係る負債	34,698
その他	3,368
<b>負債合計</b>	<b>202,622</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>71,949</b>
資本金	10,000
資本剰余金	45,272
利益剰余金	16,712
自己株式	△ 36
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 8,743</b>
その他有価証券評価差額金	511
繰延ヘッジ損益	△ 39
土地再評価差額金	3,375
為替換算調整勘定	△ 10,095
退職給付に係る調整累計額	△ 2,495
<b>非支配株主持分</b>	<b>5,713</b>
<b>純資産合計</b>	<b>68,918</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>271,541</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

科目	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,645
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,544
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 896
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 10,153
現金及び現金同等物の期首残高	54,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,299

# トピックス

## TOPICS >>

### 新しい「会社のかたち」へ ～組織再編～

これまでの「カーエレクトロニクス」「プロフェッショナルシステム」「光学&オーディオ」「ソフト&エンターテインメント」の4つの事業セグメントを、「成長牽引事業」である「オートモーティブ分野」と「収益基盤事業」である「パブリックサービス分野」「メディアサービス分野」の3つの顧客業界分野別組織へ再編し、新しい「会社のかたち」を構築しました。

#### これまで(製品事業別組織)



#### 新しい「会社のかたち」(顧客業界分野別組織)



## 会社情報

**商号** 株式会社JVCケンウッド  
(英文名: JVC KENWOOD Corporation)

**事業内容** オートモーティブ分野、パブリックサービス分野、メディアサービス分野の事業等を営むこと、ならびにこれらに相当する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理

**設立** 平成20年10月1日  
**本店所在地** 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

### 取締役

代表取締役会長	河原 春 郎
代表取締役社長	辻 孝 夫
取締役	相 神 一 裕
取締役	田 村 誠 一
取締役	谷 田 泰 幸
社外取締役	足 田 純 一
社外取締役	吉 海 正 憲
社外取締役	阿 部 康 行

### 監査役

常勤監査役	坂 本 隆 義
社外監査役	鷲 田 彰 彦
社外監査役	浅 井 彰 二 郎

### 執行役員

(兼)執行役員 最高経営責任者(CEO)	河 原 春 郎
(兼)執行役員 最高執行責任者(COO) 兼 パブリックサービス分野 (業務用システム・ヘルスケア事業)担当	辻 孝 夫
(兼)執行役員 最高戦略責任者(CSO) 兼 企業戦略部長	田 村 誠 一
執行役員 欧州CEO	江 口 祥 一 郎
(兼)執行役員 米州CEO 兼 パブリックサービス分野 (無線システム事業)担当	相 神 一 裕
執行役員 副社長 COO補佐 (メディアサービス分野担当)	斉 藤 正 明
執行役員 最高財務責任者(CFO)	藤 田 聡
(兼)執行役員 最高革新責任者(CIO) 兼 オートモーティブ分野責任者	谷 田 泰 幸
執行役員 日本CEO	栗 原 直 一
執行役員 最高リスク責任者(CRO) 兼 コーポレート・マネジメント部担当 兼 経営監査室担当	今 井 正 樹
執行役員 最高生産責任者(CPO)	松 沢 俊 明
執行役員 常務 財務経理部長	宮 本 昌 俊
執行役員 常務 米州CEO補佐 (無線システム事業)	鈴 木 昭
執行役員 アジアCEO 兼 アジア地域パブリックサービス事業統括	大 井 一 樹
執行役員 中国CEO	上 山 博 民

(兼)は取締役との兼務です。

## 株式関連メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 上記基準日の他、基準日を定めて剰余金の配当をすることができません。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載インターネットホームページURL: <a href="http://www.jvckenwood.com">http://www.jvckenwood.com</a> 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6632
単元株式数	100株
株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について	証券会社の口座をご利用の場合は、取引証券会社へご照会ください。 証券会社の口座のご利用がない場合および株式が特別口座®に記録されている場合は、上記電話照会先までご連絡ください。
※特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設し、株式を記録、管理しています。
お問い合わせ先	株式会社JVCケンウッド コーポレート・コミュニケーション部 広報・IR部 住所:〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地 電話:045-444-5232(直通) Eメール:prir@jvckenwood.com インターネットホームページURL: <a href="http://www.jvckenwood.com">http://www.jvckenwood.com</a>

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。  
また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。